

指定管理者評価表

様式1

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立農業公園 (加工体験施設)	
(2) 施設の設置目的	
南部丘陵地の豊かな自然環境を活用し、市民にレクリエーションの場を提供するとともに、都市農業の振興を図るため	
(3) 所管部局	
産業振興局 農政部 農水産課	
(4) 指定管理者名	
株式会社 堺ファーム	
(5) 指定期間	
平成26年4月1日から平成31年3月31日まで (5年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none">○施設の運営に関すること<ul style="list-style-type: none">①職員の配置に関すること②農業公園の集客、料金徴収に関すること③農産物加工体験ゾーンに関すること<ul style="list-style-type: none">・加工品製造に関すること・加工体験試食室に関すること・動物の飼育に関すること・特産品加工工房の運営に関すること・菜園の運営管理に関すること○施設の維持管理に関する業務○自主事業の計画、実施	
(7) 有料施設の有無	
有 (利用料金制)	
(8) 公募・非公募の別	
非公募 (非公募の場合その理由) ハーベストの丘は、農業振興と集客事業を複合的に推進する必要があり円滑な事業運営を図るには地元農業団体、民間事業者の経営ノウハウの活用が欠かせないものであることから、平成10年11月に堺市と株式会社ファームとの間で「緑のミュージアムの整備運営に関する基本協定」を締結した。この基本協定においては、堺市と株式会社ファームは共同してハーベストの丘を設置することを約定し、公共施設と民間施設の設置および運営管理の役割分担を定めている。また、施設の管理運営を行うに当たっては、堺市と株式会社ファーム及び堺市農業協同組合が経営参画する2法人を設立し、互いに連携協調し事業を推進してきた。さらに、株式会社ファームには、農産物加工や製造等の特殊技術及び集客ノウハウを有することから、開設当初から再委託等により実質的に農業公園「加工体験施設」の管理運営にかかわってきた実績と、ハーベストの丘において自らの農業公園を運営してきた実績がある。 堺市立農業公園には、上記のような施設の設置・運営経緯並び平成18年度からの指定管理者としての実績を加え、ハーベストの丘全体の効率的な運営を行うために本市が出資した法人である株式会社堺ファームを「加工体験施設」の指定管理者として更新するのが最も適切であり、他の団体ではこのような連携協調した管理運営は望めないものとする。	
(9) 主な利用者	(10) 市内における受益対象者数
都市住民	不特定多数
(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標	
滋賀農業公園「ブルーメの丘」、岡山農業公園「岡山ドイツの森クローネンベルグ」	

2 管理運営状況

(1)特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

- 地元地域、鉢ヶ峯営農組合様と連携し、当園の利用者をたけのこ掘り・田植え・稲刈り・いちご収穫等の農産物収穫体験を行った。
- 南区まちづくり事業の田植え体験や駅伝大会等、地域貢献の一端を担った。
- 地元地域、御池台のアドプト・ロード・プログラムに参加し、清掃活動等を行った。

(2)利用者サービス

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指定管理者名	株塚ファーム	株塚ファーム	株塚ファーム	株塚ファーム	株塚ファーム
ア 利用者数 (人)	462,791	401,975	380,033	370,727	
利用者数の算出方法	一般入園は入園券のナンバー、パスポート会員は手持ち数取器でカウントしています。団体入園者は当日の受入人数を団体専用窓口で集計しています。				
市による状況分析	イチゴ摘みをはじめとする農産物収穫体験や、子供に人気の動物とのふれあい、大人に人気の季節の花畑の充実を図り、利用者サービスの向上を実施している。				
イ 稼働率 (%)	-	-	-	-	
稼働率の算出方法	-				
市による状況分析					
ウ 利用者満足度 (%)	76	88	92	92	
利用者満足度の測定方法	利用者アンケート調査を年3回実施した。お客様による記述式、週末の夕刻(お帰りの方)に実施。アンケート協力者には、缶バッチ等をプレゼント。年間約1,000サンプル取得。				
市による状況分析	利用者のニーズやトレンドを的確に把握し、ターゲット分析を行った。投資案件やイベントの効果測定を行い、プランや内容の改善に繋がった。				

(3)管理体制等

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ア 職員数(人) ※各年度4月現在	48	48	51	55	55
イ 職員研修(回) ※令和元年度は予定回数	1	1	1	1	1
ウ 要望、苦情等(件)	2	2	3	2	-
エ 事件、事故等(件)	3	3	4	2	-
市による状況分析	職員数を増加させ、施設の環境整備し、集客力の向上を図っている。				

(4) 収支状況(単位:円)

■ 指定管理業務

		平成27年度(税込)	平成28年度(税込)	平成29年度(税抜)	平成30年度(税抜)	平成31年度(予算)
ア 収入	指定管理料	0	0	0	0	0
	利用料金	270,750,171	247,349,962	213,559,153	212,720,174	195,000,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他収入	11,133	403	271	0	0
合 計		270,761,304	247,350,365	213,559,424	212,720,174	195,000,000

イ 支出	人件費	98,289,464	101,036,551	91,544,856	96,727,112	97,500,000
	委託料 ()内は総支出額 に占める委託料の割合	16,874,713 (6.5%)	15,398,854 (6.2%)	13,153,271 (6.2%)	13,420,874 (6.3%)	14,000,000 (7.2%)
	修繕費	3,592,495	2,011,457	1,872,293	2,732,450	3,000,000
	光熱水費	32,405,097	29,829,799	26,846,696	25,150,190	28,000,000
	その他経費	106,586,309	98,888,051	80,234,568	74,478,118	51,500,000
合 計		257,748,078	247,164,712	213,651,684	212,508,744	194,000,000
利用者一人当たりの支出額		557	615	562	573	—

ウ 収支差額	13,013,226	185,653	-92,260	211,430	1,000,000
--------	------------	---------	---------	---------	-----------

エ 市への納付金の額	-	-	-	-	-
------------	---	---	---	---	---

オ 徴収委託の場合 の徴収額	-	-	-	-	-
-------------------	---	---	---	---	---

市による状況分析	入園者数は370,727人(前期380,033人)と前期より、9,306人減となったが、入園料割引の見直しや利益率が高いえさやり体験の利用者数増加により、収益が増加した。
----------	---

■ 自主事業(有)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度(予算)
ア 収入	5,801,000	5,263,000	5,503,000	4,284,000	5,225,000
イ 支出	893,000	839,000	1,067,000	1,378,000	1,369,000
ウ 収支差額	4,908,000	4,424,000	4,436,000	2,906,000	3,856,000
エ 市への納付金の額	0	0	0	0	0
オ 事業数(回)	11	12	15	15	
カ 参加者数(人)	16,036	14,536	15,286	13,633	

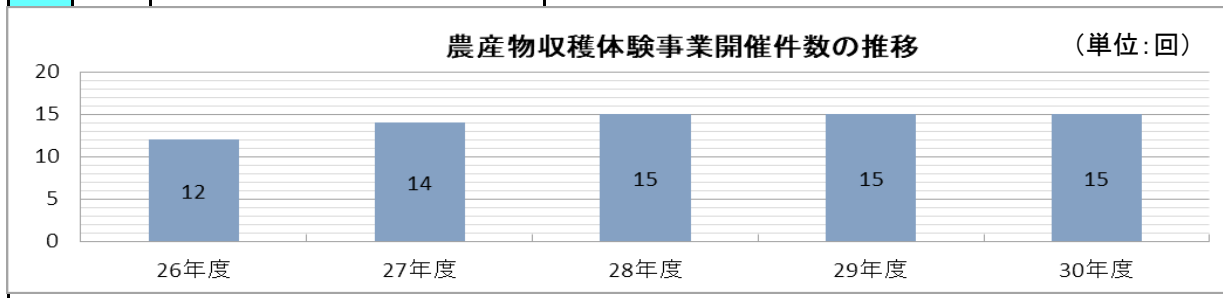
主な自主事業	いちご収穫体験、ダイコン収穫体験、さつまいも収穫体験、じゃがいも収穫体験、たけのこ収穫体験、田植え体験、稲刈り体験、チューリップ摘み取り体験、球根掘り体験など
--------	---

市による状況分析	利用者のニーズの高い、収穫体験等で収益が増加した。
----------	---------------------------

3 目標管理、評価等

(1)適正な管理運営の確保

目標管理	評価の指標	農産物収穫体験事業開催件数	(設定理由) 農業公園として、利用者期待度の高い収穫体験を実施することにより、適正な管理運営の確保に繋がります。
	目標	年間実施回数 10回以上	(設定理由) 仕様書で求める市の目標を基準に設定
	実績	年間実施回数 15回	(分析) 今年度の実施件数15回、13,755人。 ※目標未達成時は詳細な原因分析 チューリップ球根掘り体験は年々、問い合わせが増えて恒例イベントとなっております。また、新たにレタス収穫体験も実施しました。



平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項	農産物収穫体験については専門的知識のある人材を配置し、また、近隣農家とも連携を図り、たけのこ掘りや田植え体験等を実施しています。
---------------------------------------	--

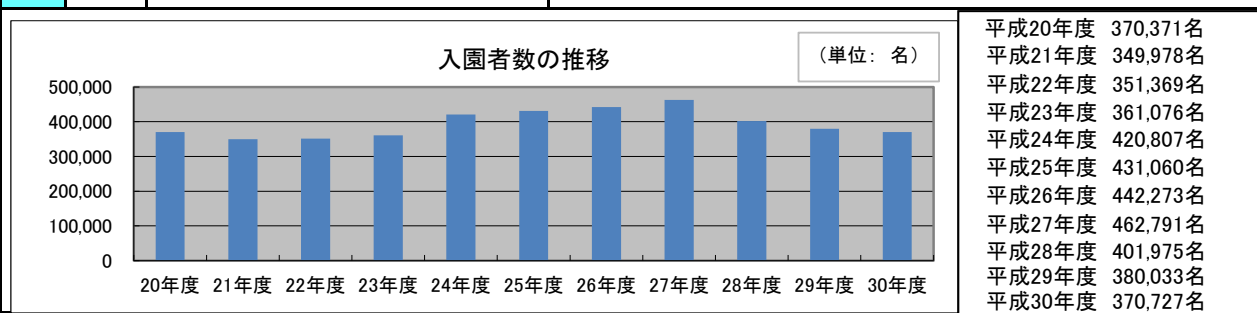
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	いちご収穫体験のシーズンにおいては、体験を希望される方が非常に多く、収穫量の都合上、相当数断っている現状があります。収穫量の増加を目指し、栽培技術の向上に努めると共に、ハウス増設も検討していきます。
-----------------------	---

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	A		A	
	具体的な理由	いちご収穫体験は、観光雑誌の関西いちご収穫体験スポットランキング1位で紹介されるなど、関西で最も予約をとるのが難しいと言われるまでになりました。また、季節感のある野菜収穫体験や花の摘み取り体験、地域と協働で行う田植え体験、タケノコ収穫体験を開催するなど、設置理念に基づいた取組を実施いたしました。	収穫体験の強化を図り、イチゴ摘み取り体験等の農産物収穫体験を行い利用者の顧客満足は高く感じられた。よってサービスの向上、利用促進について一定の効果があつたと判断する。		
対応策等	収穫体験や摘み取り体験、球根掘り体験など、季節感のある内容を今後も取組んでまいります。	近隣農家と連携を図り、たけのこ収穫体験、田植え体験、稲刈り体験等の充実を図り、地域農業の振興に寄与している。			

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(2)利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標	利用者数	(設定理由) 利用者サービスの向上による結果が数値として反映される為、ひとつの指針となります。
	目標	500,000人	(設定理由) 市立農業公園の設置理念に基づき設定した。
	実績	370,727人	(分析) 夏期の猛暑や豪雨、9月の台風21号の影響により、上半期は約2万3千人減少にて推移しました。反対に、秋のコスモスが順調に開花した下半期は約1万4千人増加しました。 ※目標未達成時は詳細な原因分析



利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項	今年度はアンケート調査結果を反映させた取組みとして、特に人気の高い動物イベントや花の植栽、収穫体験の充実を図り、利用者満足度の向上に努めました。
--	--

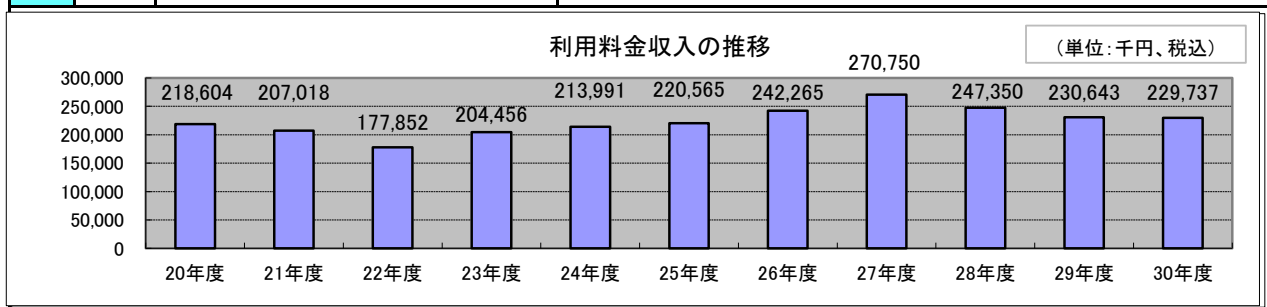
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	定期的に入園ゲート付近にて、利用者のアンケート調査を行い、その調査結果を反映させた取組みを行っています。苦情については、真摯に受けとめ適時適切に対応しています。
-----------------------	--

	指定管理者の自己評価	市の評価
評価	B	B
具体的な理由	目標50万人に対して、実績約37万人(目標対比74.0%、前年対比97.5%)という厳しい結果となりました。 一般入園者数は前期対比100.6%と増加しましたが、団体入園者数が79.3%と減少しました。	全体での入園者数が減少したが、ハーベストの丘全体の活性化に繋がると共に、じゃぶじゃぶ広場の活用、イベント等の充実を図るなど、一般入園者数が増加したことは評価できる。
対応策等	一般集客については、花フェスタの取組みをさらに充実させてまいります。団体集客については、アスレチックを活用した団体プランを学校団体や企業への販促活動いたします。また、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産ツアー企画を2府4県の主要旅行会社へ営業活動を進めます。	ハーベストの丘を魅力ある施設にするとともに、安定経営につながる施策を講じるため、堺市と民間事業者(株)堺ファームが連携して、活性化対策について検討・実施する。 ・いちご関連のグルメ体験等の充実 ・ふれあい動物の充実 ・集客力の高いイベントの検討 ・親水施設による夏季期間の集客の向上

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

目標管理	評価の指標	利用料金収入	(設定理由) 健全な経営を遂行する指標となります。
	目標	200,000,000円 以上	(設定理由) 仕様書で求める市の目標(200,000千円以上)及び、事業計画予算により設定
	実績	229,737,795円	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 目標水準である200,000千円に対し、30年度実績229,737千円(114.8%)と目標を上回る結果となりましたが、前年比較すると入園者数の減少により対比99.6%と下回る結果となりました。



収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項	入園者数が減少に伴い、利用料金収入も減少しましたが、客単価は前年度241円から今年度263円と約22円向上しました。
------------------------------------	--

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	料金についての苦情等はありませんでした。駐車場無料や、年間入園パスポート料金は安いと喜んでいただいています。
-----------------------	--

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	B		B	
	具体的な理由	入園者数減少により、前年を下回る結果となりましたが、目標である200,000千円に対しては114%と水準を満たしました。	入場者数は減少したが、収入は200,000千円を上回っている。上回った要因は、専門加工工房と牧舎動物の、売上高の増収によるものと思われる。また繁忙時と閑散時の体制を切り替えて仕入れや雇用を行っており、その結果収益に繋がっており、ひいては安定的な事業を運営していると判断する。		
対応策等	新規投資や修繕を行うとともに、サービスの向上にも力を入れ、魅力ある施設作りを行います。利用者数の増加により利用料金収入の増加に繋がっていきます。また、販売費及び一般管理費の削減にも努め、安定的な運営を行っていきます。	人気の高いいちご収穫の他、ピーマン・ししとうなどの収穫体験、動物ふれあいや体験教室の充実等、各イベント開催等積極的に取組みハーベストの丘全体の活性化を図り収入増に繋がっている。			

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの